

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	7	事業名	八街市公共下水道事業		路線又は箇所名等			印旛処理区	
事業所管課		建設部 下水道課			事業主体			八街市	
事業化年度	昭和52年度	用地着手年度			工事着手年度	昭和52年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	1.4	総費用	480億円	総便益	657億円	基準年	平成20年度	供用開始年度	昭和63年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次 H29)	事業計画(完成予定年次 H22)	現況 (H20)
処理区域面積	1,030ha	507ha	422ha
処理人口	42,700人	24,100人	19,712人
終末処理場の処理能力	-	-	-
事業費	221億円	131億円	117億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画507haに対して422haを整備し、整備率は83%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	接続率は93%である。
地元情勢等	市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

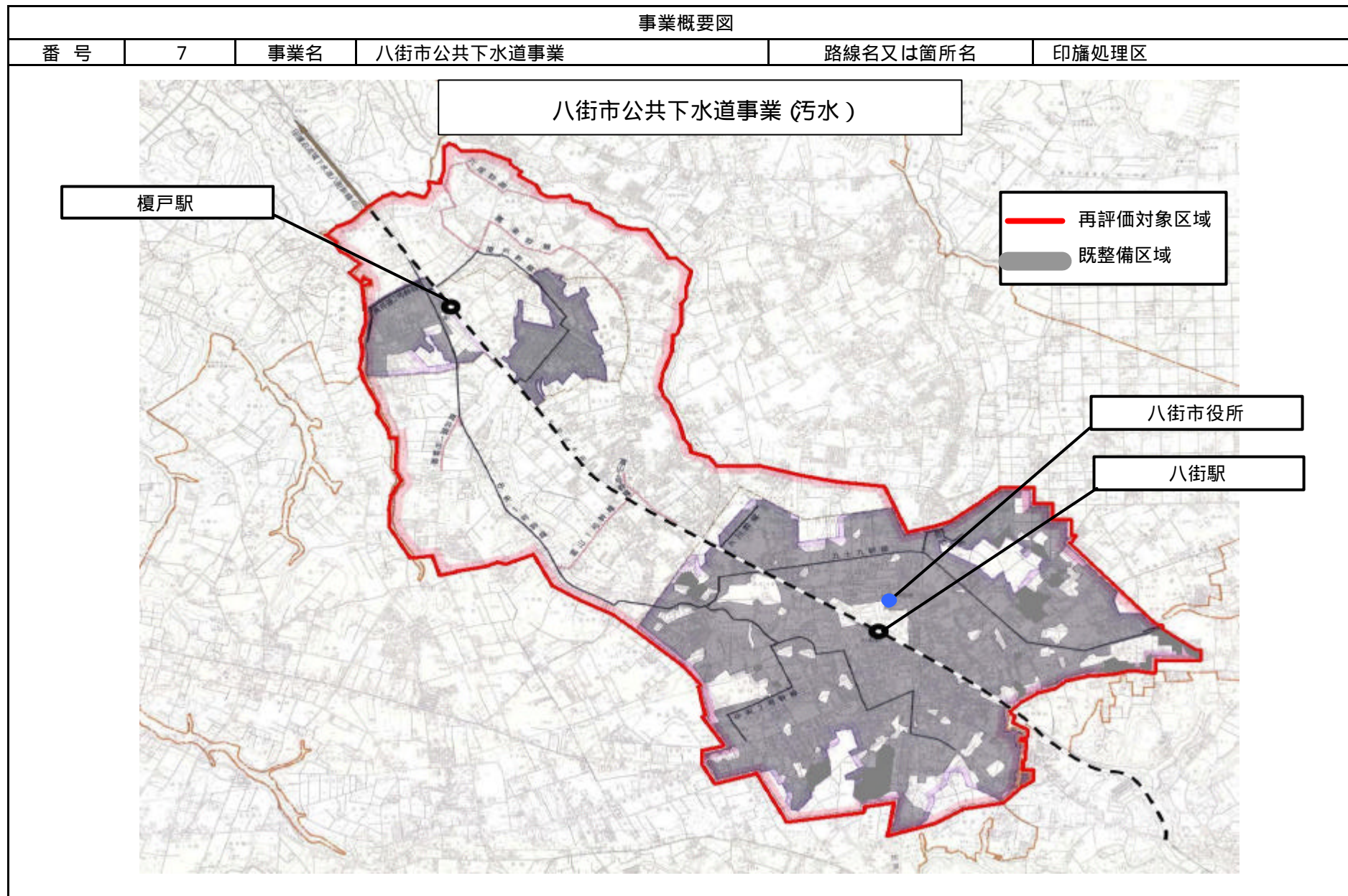
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等への再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

八街市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。



別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番号	7	事業名	八街市公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和52年度	用地着手年度		工事着手年度	昭和52年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和63年度	対応方針	継 続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		184億円	103億円			
用地取得面積						
供用面積 (延長)		1,030 ha	301ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和63年度	対応方針	継 続	
B / C	1.4	総費用	480億円	総便益	657億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		221億円	117億円			
用地取得面積						
供用面積 (延長)		1,030 ha	422ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					